

台風19号 各地での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～2月8日までに集まった支援募金は約5,200万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。またお取引先の皆さまからも100万円を超える支援金をいただいています。皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

＜産直りんご生産者グループ「ハケタ会」・「信濃五岳会」＞

「ハケタ会」では17名中10名が決壊した千曲川流域（赤沼地域：新幹線が冠水した地域です）に住んでおられます。家屋・りんご園・倉庫・農機具全てが浸水してしまいました。「信濃五岳会」は、決壊した地域と反対側の地域のため家屋や農機具への被害は免れましたが、千曲川沿いにあった生産者の園地（りんご・桃・ネクタリンなど）は全て浸水しました。

作業場や倉庫の土砂出しもまだ残っています。畑に入った土砂は、まだ全てを取り除くことができていません。積もった土砂だけを取り除く作業はとても難しい作業です。

片づけや土砂出しなども行いながら、来季のりんごの栽培管理も始まりました。この時期は剪定作業です。



生産者との支援の相談の中で、切った木を粉砕機にかける作業を行っていただけると助かる、とのことでした。

今季、りんごを組合員へお届けできるように、りんごの管理作業も支援していきたいと思います。

今年は、雪が少なく、作業は進んでいるのですが、りんごの生育が心配です。生産者の方たちは口を揃えて言われています。

「今年は異常気象です。本来であればこの時期、雪が1mほど積もっているはずですが、一切積もっていません。例年のこの時期は、雪が積もっているため長靴を履いて作業しますが、今はスニーカーで作業ができるほど、雪がありません。春がどうなるのか見当はつきませんが、試行錯誤しながら、皆さんに安心して安全な作物をお届けできるようにがんばります。」

生産者はりんごの栽培も頑張っています。是非、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

台風19号災害支援募金

専用申込書に印字しています。数量（口数）を記入ください。

【例】一口200円を数量欄に「2」と申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

申込
番号

010

一口200円

011

一口500円

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。グリーンコープ災害支援の内容はインスタグラム「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。





園地は大きな水害を受けました。
植えたばかりの小さなりんごの木も被害を受けました。被害を受けた木もありますが、耐えた木もあります。
収穫できるまでに、あと数年かかりますが、大切に育てられています。



＜八ヶタ会 北澤会長の園地＞

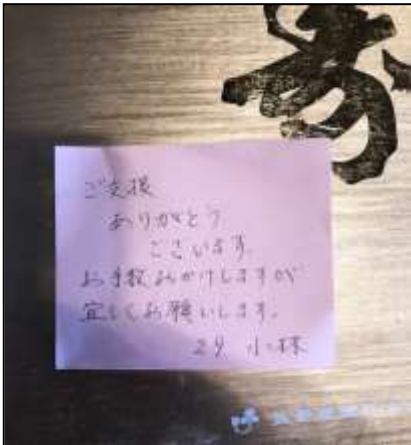
背丈ほどの小さなりんごの木。収穫できるまであと3年かかりますが、収穫できるように、見守っていきたいと思います。

大切な思い出も組合員の手によって・・・

平成30年7月の西日本豪雨災害の支援活動の一つとして取り組んできた「写真洗浄」。この度、グリーンコープ生協おかやまで八ヶタ会の写真をお預かりさせていただくことになりました。

1月末よりアルバムからの切り出し作業を開始し、現在は水での洗浄作業を行っています。届いた写真は、腐食が進んでいるものもあり、作業が思うように進まない状態でしたが、アルバムには写真と一緒にお子さんの成長の記録を記したメモもたくさんあり、この大切な思い出を、出来るだけ綺麗にしてお返ししたいという気持ちで作業を進めています。

思い出がよみがえるように、悲しみは洗い流せるように、写真と一緒に元気をお届けできたらと思います。



八ヶタ会から土砂で汚れた写真の洗浄依頼を受け、グリーンコープ生協おかやまで洗浄することにしました。

まず、アルバムを広げ乾燥させます。



そして、アルバムから写真を切り出す作業を行います。

切り出した写真を1枚1枚取り出し、順番に並べ、洗浄作業に入っていきます。

